

予算要求課	福祉部 福祉課	内線2941
-------	---------	--------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
事業名	31105		民生児童委員事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		8,630	8,133	△ 497	8,108	民生委員の一斉改選経費の減	8,108	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	8,630	8,133	△ 497	8,108		8,108	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
民生・児童委員及び主任児童委員は地域に根ざした福祉活動を展開し、あたたかな地域社会づくりを目指して、地域住民の相談・支援・調査活動を実施しており、それらの活動を支援する。			
<b>事業実施の課題</b>			
要相談者や要支援件数の増加 民生児童委員の活動量の増加			
<b>事業概要</b>			
民生・児童委員、主任児童委員の活動経費			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
民生・児童委員(人)	190	190	190
主任児童委員(人)	31	31	31
<b>成果</b>			
今後益々増加が予想される高齢者等の見守りや相談事業に対して、地域に密着した委員の役割は増加すると考えられるため、地域の安心感の拡大が図れる			
<b>要求額増減理由</b>			
平成22年度の民生・児童委員一斉改選に伴う経費の減少			

<b>①総合計画</b>		
(1)「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
(1) 地域における支え合いの仕組みをつくる		
① 支えあう心の育成		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2)「やさしさ」のあるまちをめざして		
(1) 地域福祉		
ソフト		
民生児童委員活動事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線2941
-------	---------	--------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
事業名	31110		相談所設置事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		4,388	5,197	809	6,188	結婚支援事業の委託化は実施せず、市が実施主体として回数を増やした 国の交付金を財源とした基金により、相談窓口事業を実施	7,088	結婚支援事業の拡大による増
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0	300			
一般財源	4,388	5,197	809	5,888	6,788			

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
心配ごと相談所を設置し生活上のあらゆる心配ごとに関する相談への助言及び、結婚相談所を設置し、結婚に関する相談に応じるとともに、結婚に関する各種支援事業を実施することにより安心して暮らせる地域社会を形成する。			
<b>事業実施の課題</b>			
晩婚化や未婚化が進行しているなか、結婚支援事業に関わるボランティア協力者の固定化と減少、後継者不足により今後の継続が不安になっている。			
<b>事業概要</b>			
心配ごと相談所設置 高山地区1箇所 週2回開催 支所地区9箇所 月1回開催 結婚相談所設置 高山地区1箇所 週1回開催 支所地区9箇所 月1回開催 結婚支援事業 男女の出会いイベント(セミナー付)を年間4回開催			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
心配事相談(件)		150	150
結婚相談(件)		364	380
結婚支援事業参加者(人)		101	110
	H23計画		120
<b>成果</b>			
結婚願望のある男女の出会いを手助けすることにより、結婚に結びつける事ができる			
<b>要求額増減理由</b>			
結婚支援事業の委託			

<b>①総合計画</b>		
(1)「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
(1) 地域における支え合いの仕組みをつくる		
① 支えあう心の育成		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2)「やさしさ」のあるまちをめざして		
(1) 地域福祉		
ソフト		
相談所設置事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
6 市民の生活と生命・財産を守ります。 市民生活の不安を取り除くため、多岐にわたる要因に対する総合相談窓口を新設します。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線2941
-------	---------	--------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
事業名	31115		社会福祉協議会補助金					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	58,850	58,850	0	58,850	前年同額	58,850	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	58,850	58,850	0	58,850		58,850	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
福祉事業の組織的活動の促進及び地域福祉の増進と充実を図るため、社会福祉協議会の運営に関する人件費を助成する			
<b>事業実施の課題</b>			
少子高齢化が進行する中で、地域コミュニティが低下しており、地域での支え合いが困難となっている。			
<b>事業概要</b>			
高山市における地域福祉の担い手として活動している、高山市社会福祉協議会は独自の財源を持たないため地域福祉に関する人材の人件費相当を補助するもの。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
会員数(世帯)	21,453	21,500	21,500
<b>成果</b>			
住民、事業者等の協働による地域福祉資源の充実。地域に根ざした総合的な支援体制の整備			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(1)「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
(1) 地域における支え合いの仕組みをつくる		
① 支えあう心の育成		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2)「やさしさ」のあるまちをめざして		
(1) 地域福祉		
ソフト		
社会福祉協議会助成事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線2941
-------	---------	--------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
事業名	31120		社会福祉奉仕活動事業補助金					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	3,800	3,800	0	3,800	前年同額	3,800	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他	258	186	△ 72	205			
一般財源	3,542	3,614	72	3,595		3,595	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
ボランティア団体等社会福祉関係団体やボランティア活動を行う個人の活動を支援することにより、地域福祉活動への市民参加を促進する。			
<b>事業実施の課題</b>			
登録ボランティア団体の固定化			
<b>事業概要</b>			
ボランティアの育成及び団体への支援			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
登録団体数(団体)	89	90	90
ボランティア保険加入者数(人)	2,714	2,746	2,760
<b>成果</b>			
ボランティア活動の助長、団体の育成による制度外サービス提供による地域福祉の向上			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(1)「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
(1) 地域における支え合いの仕組みをつくる		
① 支えあう心の育成		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2)「やさしさ」のあるまちをめざして		
(1) 地域福祉		
ソフト		
社会福祉奉仕活動事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
4 個人・家庭・地域を大切に社会を築きます。		
市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備の予算枠を確保します。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線2942
-------	---------	--------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
事業名	31135		行旅死亡人等保護援護事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	320	320	0	320	前年同額	320	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	200	200	0	200		200	
起債			0				
その他			0				
一般財源	120	120	0	120		120	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
行旅病人及び行旅死亡人取扱法に基づき、行旅病人の医療費、行旅死亡人の火葬等の費用を支出し、その救護及び埋火葬を行う。 ホームレス等の保護。			
<b>事業実施の課題</b>			
身元調査が困難なため、請求等に時間がかかる場合がある。 不況等による給付件数の増加。			
<b>事業概要</b>			
行旅病人の医療費、行旅死亡人の火葬等の費用。 ホームレス等の帰宅用交通費の支給。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
行旅病人数、行旅死亡人数(人)	2	2	3
交通費支給者(人)	60	81	122
<b>成果</b>			
行旅病人の救護、行旅死亡人の埋火葬等。 また、ホームレス等生活基盤の弱い人達を保護、援護することにより、行き倒れとなることを防ぐ効果が見込まれる。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(1)「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
(2)誰もが安心して暮らせる環境を作る。		
②暮らしの支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2)やさしさのあるまちをめざして		
(1)地域福祉		
ソフト		
行旅死亡人保護事業等		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線2941
-------	---------	--------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
事業名	31144		戦没者追悼事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	1,800	1,923	123	1,830	積算内訳の精査	1,830	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	1,800	1,923	123	1,830		1,830	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
先の大戦で戦病死された方々の追悼及び遺族会活動の支援により平和思想の啓発・普及を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
戦没者追悼式の開催 高山市遺族会連合会に対する支援			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
追悼式参列者(人)	700	650	650
遺族会会員数(人)	1,471	1,452	1,450
<b>成果</b>			
弔慰金制度など遺族会を通して、各遺族に周知徹底が図られる。			
<b>要求額増減理由</b>			
戦没者追悼式開催時に遠方参加者の利便を図るため送迎バスを増便			

<b>①総合計画</b>		
(1)「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線2941
-------	---------	--------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
事業名	31160		社会福祉関係事務費					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	1,281	2,644	1,363	2,175	地域福祉計画策定に係る経費の増 事務費は前年並	2,175	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	1,281	2,644	1,363	2,175		2,175	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
地域福祉の推進			
<b>事業実施の課題</b>			
第2期地域福祉計画の策定および災害時要援護者台帳の再整備、個別支援計画の検討			
<b>事業概要</b>			
地域福祉計画の策定・災害時要援護者台帳の整備			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
要支援者台帳登録者(人)	986	986	986
<b>成果</b>			
地域福祉の推進、向上			
<b>要求額増減理由</b>			
第2期地域福祉計画策定に伴う事業費の増加			

<b>①総合計画</b>		
(1)「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
(1) 地域における支え合いの仕組みをつくる		
① 支えあう心の育成		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2)「やさしさ」のあるまちをめざして		
(1) 地域福祉		
ソフト		
更生保護事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31211		通所サービス利用促進事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		18,100	21,107	3,007	21,100	対象事業所の増	21,100	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	13,500	15,750	2,250	15,750		15,750	
	起債			0				
	その他	980	1,045	65	1,061		1,061	
	一般財源	3,620	4,312	692	4,289		4,289	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
通所サービス実施者のうち、送迎を行う事業者に補助金を交付することにより、通所サービスの利用促進及び通所サービスに係る利用者負担の軽減を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
現在のところ平成23年度までの激変緩和措置事業とされており、平成24年度以降の事業の方向性が未定。			
<b>事業概要</b>			
利用者の送迎を週3回以上実施している障がい者施設に対する助成。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
事業所数(件)	6	6	7
<b>成果</b>			
今後も継続することで、通所サービスの利用促進及び通所サービスに係る利用者負担の軽減につながる。			
<b>要求額増減理由</b>			
事業実施事業所数の増加による。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
② 自立と社会参加への支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(4) 障がい者福祉		
ソフト		
通所サービス利用促進事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31215		障がい者職親委託費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	6,600	4,620	△ 1,980	4,800	実績による査定	4,800	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	6,600	4,620	△ 1,980	4,800		4,800	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
心身障がい者の自立更生を図るため、障がい者を職親に預け、生活指導及び技能習得等を行うことにより雇用を促進するとともに、職域を拡大して、障がい者の福祉の向上を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
職親先の拡大。			
<b>事業概要</b>			
心身障がい者の職親委託。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
委託延べ月数(月)	733	805	924
<b>成果</b>			
障がい者の自立更生及び福祉の向上。			
<b>要求額増減理由</b>			
事業実績の減少による。			

<b>①総合計画</b>	
(1)やさしさのあるまちをめざして	
障がい者福祉	
(1)障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる	
②自立と社会参加への支援	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>	
(2)やさしさのあるまちをめざして	
(4)障がい者福祉	
ソフト	
職親委託事業	
<b>③事業評価</b>	
事業名	今後の方向性
評価区分	
コスト・成果ポジション	コスト 成果
実施方針	
<b>④市長の約束</b>	
5 医療・福祉を充実させます。	
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。	

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31221 難病患者居宅介護等事業委託費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	600	465	△ 135	500	実績による査定	500	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	450	348	△ 102	375			
起債			0				
その他			0				
一般財源	150	117	△ 33	125		125	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
難病患者等が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーを派遣して入浴、家事等の日常生活を営むのに必要な便宜を供与し、難病患者の福祉の推進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
難病患者に対する社会的認知度の低さ。			
<b>事業概要</b>			
難病患者の居宅介護(身体介護・家事援助)に対する給付			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
利用者実人数(人)	2	3	2
<b>成果</b>			
難病患者等の自立と社会参加の促進。			
<b>要求額増減理由</b>			
利用者の減少のため。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
①障がい者福祉サービスの充実		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(4) 障がい者福祉		
ソフト		
障がい者居宅介護等支援事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31224		障がい者関係団体補助金					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	1,270	950	△ 320	950	身体障がい者体育大会等の減	950	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	1,270	950	△ 320	950		950	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
市との連携を強め身体障がい者福祉の向上のための活動補助。また協会の安定的運営			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
身体障がい者団体への助成 身体障害者福祉協会補助金			
<b>計画・実績・見込</b>	H21実績	H22見込	H23計画
補助金交付件数(件)	2	3	1
<b>成果</b>			
身体障がい者福祉向上のため活動。			
<b>要求額増減理由</b>			
飛騨ブロック体育大会の開催地補助金及び雇用支援協会補助金の減少による。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
地域福祉		
(1) 地域における支えあいの仕組みをつくる		
①支えあう心の育成		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31227		知的障がい者施設整備事業補助金					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,717	1,963	△ 1,754	1,963	吉城山ゆり園施設整備に対する助成が終了し、大野山ゆり園のみとなったことによる減	1,963	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	3,717	1,963	△ 1,754	1,963			
							1,963	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
知的障がい者施設整備に対する支援			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
知的障がい者施設の建設費の助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
補助施設数(施設)	2	2	1
<b>成果</b>			
今後も障がいのある人を施設に入所または通所させることにより、保護するとともにその更生に必要な指導及び訓練が行われる。			
<b>要求額増減理由</b>			
吉城山ゆり園への助成が平成22年度までで終了し、平成23年度から大野山ゆり園のみの助成となった。			

<b>①総合計画</b>	
(1) やさしさのあるまちをめざして	
障がい者福祉	
(1) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる	
①障がい者福祉サービスの充実	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>	
(2) やさしさのあるまちをめざして	
(4) 障がい者福祉	
ハード	
知的障がい者施設整備補助事業	
<b>③事業評価</b>	
事業名	今後の方向性
評価区分	
コスト・成果ポジション	コスト 成果
実施方針	
<b>④市長の約束</b>	
5 医療・福祉を充実させます。	
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。	

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31233		身体障がい者補装具等扶助費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	39,000	51,318	12,318	51,000	給付見込件数の増による	51,000	財務部査定どおり
国庫支出金	19,500	25,658	6,158	25,500			
県支出金	9,750	12,829	3,079	12,750			
起債			0				
その他			0				
一般財源	9,750	12,831	3,081	12,750			

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
身体障がい者児に補装具を支給することにより、職業その他日常生活の能率の向上を図る。 また、更生医療については、身体障がい者がその障がいを回復・軽減することを目的とする治療を行う場合にその医療費を助成し、自立更生を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
障がい者数の増加等による支給件数の増加。			
<b>事業概要</b>			
補装具及び更生医療の給付			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
補装具支給件数(件)		201	282
レセプト枚数(枚)		1,359	1,390
	H23計画		282
			1,390
<b>成果</b>			
補装具を補完又は代替することによって、身体障がい者の自立や社会参加活動が拡大され、福祉の向上となる。 また、更生医療を行うことにより、身体の機能障害を軽減または改善するなど治療の効果が得られ、自立や社会参加ができる。			
<b>要求額増減理由</b>			
給付見込み件数の増加。			

<b>①総合計画</b>	
(1)やさしさのあるまちをめざして	
障がい者福祉	
(1)障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる	
②障がい者福祉サービスの充実	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>	
(2)やさしさのあるまちをめざして	
(4)障がい者福祉	
ソフト	
身体障がい者補装具等扶助事業	
<b>③事業評価</b>	
事業名	今後の方向性
評価区分	
コスト・成果ポジション	コスト 成果
実施方針	
<b>④市長の約束</b>	
5 医療・福祉を充実させます。 ・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。	

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31242		障がい者タクシー利用料助成費					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	2,000	2,082	82	2,000	視覚障がい者の助成回数を拡大	2,000	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	2,000	2,082	82	2,000		2,000	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
歩行困難及び生活活動に常時介護が必要な重度障がい者がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成することにより社会活動の範囲を広げ、もって重度障がい者の福祉の増進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
障がいの種別による助成金額の差異。			
<b>事業概要</b>			
移動困難な障がい者のタクシー利用料の一部(初乗り料金の90%)を助成。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
利用者延人数(人)	215	202	202
<b>成果</b>			
今後も当事業を継続していくことにより、重度障がい者の社会活動範囲が広がることが見込まれる。			
<b>要求額増減理由</b>			
障がいの種別による格差を解消するための重度の視覚障がい者への助成金額の増加。			

<b>①総合計画</b>	
(1)やさしさのあるまちをめざして	
障がい者福祉	
(1)障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる	
②自立と社会参加への支援	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>	
(2)やさしさのあるまちをめざして	
(4)障がい者福祉	
ソフト	
障がい者タクシー利用費助成事業	
<b>③事業評価</b>	
事業名	今後の方向性
評価区分	
コスト・成果ポジション	コスト 成果
実施方針	
<b>④市長の約束</b>	
5 医療・福祉を充実させます。	
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。	

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31246		ニュー福祉機器購入等助成事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	400	400	0	400	前年同額	400	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	133	133	0	133		133	
起債			0				
その他			0				
一般財源	267	267	0	267		267	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
在宅の身体障がい者がその自立に資する目的で購入するニュー福祉機器の購入費用を一部助成することにより、ニュー福祉機器の活用機会を拡大し、もって障がい者等の社会参加と自立の促進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
県の補助率の削減による市の一般財源の増加。			
<b>事業概要</b>			
先進的な福祉機器の購入に係る費用の一部を助成。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
助成件数(件)	6	10	10
<b>成果</b>			
ニュー福祉機器に対する助成を継続することにより、身体障がい者の社会参加を支援できる。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(1)やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1)障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
①障がい者福祉サービスの充実		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2)やさしさのあるまちをめざして		
(4)障がい者福祉		
ソフト		
日常生活用具等給付事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31250		身体障がい者補助犬飼育費助成費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	60	60	0	60	前年同額	60	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	60	60	0	60		60	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
就労等社会活動への参加のために身体障がい者補助犬を利用する身体障がい者に対し、飼育のために必要な経費の一部を助成することにより、福祉の増進及び身体障がい者補助犬の利用促進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
身体障がい者補助犬を利用する身体障がい者に対する飼育経費の助成。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
助成件数(件)	1	1	1
<b>成果</b>			
今後も身体障がい者補助犬を利用することで、社会参加の機会の拡大が期待できる。。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>	
(1)やさしさのあるまちをめざして	
障がい者福祉	
(1)障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる	
②自立と社会参加への支援	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>	
<b>③事業評価</b>	
事業名	今後の方向性
評価区分	
コスト・成果ポジション	コスト 成果
実施方針	
<b>④市長の約束</b>	
5 医療・福祉を充実させます。	
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。	

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31252		重度身体障がい者介助用自動車購入等助成費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	1,200	1,200	0	1,200	前年同額	1,200	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	400	400	0	400		400	
起債			0				
その他			0				
一般財源	800	800	0	800		800	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
車いす等を使用する在宅の重度身体障がい者を介助する者が運転する自動車をリフト付き等に改造する経費又は既に改造された自動車を購入する経費を助成することにより、介助者の負担の軽減を図り、身体障がい者の社会参加を促進する。			
<b>事業実施の課題</b>			
県の補助率の削減による一般財源の増加。			
<b>事業概要</b>			
自動車を改造または既に改造された自動車を購入する経費を助成するもの。上限額240千円			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
助成件数(件)	3	5	5
<b>成果</b>			
障がい者の行動範囲拡大につながる。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1)障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
②自立と社会参加への支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(4)障がい者福祉		
ソフト		
障がい者移動支援事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31255		障がい者生活支援事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	23,050	27,239	4,189	23,090	前年並 障がい者生活支援については人口割により増	23,090	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金	1,955	2,119	164	1,955		1,955	
県支出金	978	1,059	81	978		978	
起債			0				
その他			0				
一般財源	20,117	24,061	3,944	20,157		20,157	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
障がい者の生活の自立と社会参加を促進する。			
<b>事業実施の課題</b>			
相談件数の増加に伴い、きめ細かな相談、支援を行うことが困難になっている。			
<b>事業概要</b>			
障がい者生活支援事業・・・相談事業、手話通訳派遣等 発達障がい者(児)支援事業・・・発達障がい者(児)に関する相談支援 3個所の相談支援事業所、コミュニケーション支援事業所、発達相談支援事業所			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
事業所相談件数(件)		15,733	20,412
手話通訳派遣回数(回)		35	59
発達相談(件)		—	272
			H23計画
			26,331
			65
			280
<b>成果</b>			
障がい者に対する福祉サービス情報の提供や相談・訪問指導により、自立した日常生活や社会生活を送ることができる。 手話通訳者の設置・派遣により聴覚障がい者の社会参加の促進につながる。 発達障がい児(者)支援により、発達障がいを早期発見と自立や社会参加の促進につながる。			
<b>要求額増減理由</b>			
障がい者数の増加に伴う相談件数、支援件数の増加。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
①障がい者福祉サービスの充実		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(4) 障がい者福祉		
ソフト		
障がい者生活支援事業 発達障がい者支援事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31258		障がい程度区分認定審査会事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,600	2,730	130	2,600	前年同額 認定調査の委託化は見送り	2,600	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	1,300	1,365	65	1,300		1,300	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	105	105	0	105		105	
	一般財源	1,195	1,260	65	1,195		1,195	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
障害者自立支援法に定める介護給付費等の支給に関する障がい程度区分等の審査及び判定。			
<b>事業実施の課題</b>			
認定審査件数の増加に伴う審査会委員及び調査員の負担増。			
<b>事業概要</b>			
介護給付等の支給に関する障がい程度区分等の審査及び判定。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
審査件数(件)	173	177	185
<b>成果</b>			
今後も中立的かつ公正な審査が期待できる。			
<b>要求額増減理由</b>			
認定調査の一部委託化に伴う委託料の増加。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
② 自立と社会参加への支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(1) 地域福祉		
ソフト		
障がい程度区分認定審査会事業費		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31260		障がい者福祉関係事務費					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,682	3,578	896	2,838	障がい者福祉計画策定経費及び障がい福祉サービス審査支払手数料の増	2,838	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	247	270	23	255		255	
	県支出金	66	71	5	66		66	
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	2,369	3,237	868	2,517		2,517	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
障がいのある方の自立と社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進するため、高山市障がい者施策推進協議会の設置及び、障がいのある方の社会参加を促進して障がい者福祉の向上を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
障がい者福祉計画、障がい福祉サービス計画の策定。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
<b>成果</b>			
障がい者福祉計画等を作成することは、障がい者福祉事務の推進及び障がいのある方の自立と社会参加の支援等のためにも必要であり、今後も障がいのある方が安心して暮らすことができるよう、障がい者福祉事務をすすめる。			
<b>要求額増減理由</b>			
障がい者福祉計画等の策定経費及び障がい福祉サービスの利用者の増加に伴う審査手数料の増加。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
①障がい者福祉サービスの充実 ②自立と社会参加への支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31263		特別障がい者手当給付事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方	
歳出	47,000	52,916	5,916	48,700	給付見込件数の増による	48,700	財務部査定どおり	
財源内訳								
国庫支出金	35,250	39,686	4,436	36,525				36,525
県支出金			0					
起債			0					
その他			0					
一般財源	11,750	13,230	1,480	12,175		12,175		

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
在宅障がい者に手当を支給し、著しく重度の障がいによって生じる特別な負担の軽減を図り、福祉を増進させる。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
特別障がい者手当の支給。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
支給延件数(件)	2,053	2,154	2,352
<b>成果</b>			
障がいによって生じる経済的な負担の軽減。			
<b>要求額増減理由</b>			
手当受給者の増加。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる (2) 誰もが安心して暮らせる環境をつくる		
①障がい者福祉サービスの充実 ②暮らしへの支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(1) 地域福祉		
ソフト		
特別障がい者手当等給付事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31265		障がい者福祉手当給付費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	51,000	53,552	2,552	52,200	給付見込件数の増による	52,200	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	51,000	53,552	2,552	52,200		52,200	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
一定の要件を満たす精神又は身体に障がい有する者に対して、障がい者福祉手当を支給することにより、障がい者の福祉の増進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
障がい者福祉手当の支給。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
支給延件数(件)	32,302	33,549	34,874
<b>成果</b>			
日常生活の経済的な負担の軽減。			
<b>要求額増減理由</b>			
手当受給者の増加。			

<b>①総合計画</b>	
(1) やさしさのあるまちをめざして	
障がい者福祉	
(1)障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる (2)誰もが安心して暮らせる環境をつくる	
①障がい者福祉サービスの充実 ②暮らしへの支援	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>	
(2) やさしさのあるまちをめざして	
(1)地域福祉	
ソフト	
障がい者福祉手当給付事業	
<b>③事業評価</b>	
事業名	今後の方向性
評価区分	
コスト・成果ポジション	コスト 成果
実施方針	
<b>④市長の約束</b>	
5 医療・福祉を充実させます。	
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。	

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31270		身体障がい者福祉センター運営委託費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	7,050	7,050	0	7,050	前年同額	7,050	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	7,050	7,050	0	7,050		7,050	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
障がい者、高齢者、母子家庭等に対して各種の福祉事業を実施し、併せて市民、市民組織等による福祉活動を助長し、障がい者福祉の増進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
身体障がい者福祉センター運営委託費			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
利用者数(人)	3,624	3,700	3,700
<b>成果</b>			
障がい者健康増進及び保持、教育の向上等の便宜が得られる。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(1)やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1)障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
②自立と社会参加への支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2)やさしさのあるまちをめざして		
(4)障がい者福祉		
ソフト		
身体障がい者福祉センター運営事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31286		障がい福祉サービス事業給付費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,058,051	1,160,007	101,956	1,092,751	実績により査定	1,092,751	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	528,350	579,334	50,984	545,700	障がい者共同生活援助事業給付費 知的障がい者施設支援給付費 身体障がい者施設支援給付費 などの給付見込額の増による	545,700	
	県支出金	264,175	289,667	25,492	272,850		272,850	
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	265,526	291,006	25,480	274,201		274,201	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
障がい者が障害者自立支援法に基づく各種のサービスを利用した際にその費用を給付することにより、その福祉の増進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
施設、グループホームの入所希望者に対し、サービス提供者が少ない。			
<b>事業概要</b>			
障害者自立支援法に基づく障がい福祉サービスの給付。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
利用者延人数(人)	6,353	7,249	7,800
<b>成果</b>			
障がい者の自立と社会参加への推進。			
<b>要求額増減理由</b>			
障がい者数の増加により各種サービスの利用希望の増加や就労継続支援事業所の定員拡大、また、施設の運営形態が変わることによる必要額の増加。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
①障がい者福祉サービスの充実 ②自立と社会参加への支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(4) 障がい者福祉		
ソフト		
障がい者居宅介護等支援事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31287		地域生活支援事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		52,620	64,041	11,421	57,540	実績により査定 日常生活用具給付事業 身体障がい者訪問入浴事業 などの給付見込件数の増による リフトバス購入助成の新設による増	57,540	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	23,600	26,408	2,808	25,350		25,350	
	県支出金	11,800	13,204	1,404	12,675		12,675	
	起債			0				
	その他	47	32	△ 15	38		38	
	一般財源	17,173	24,397	7,224	19,477		19,477	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
障がい者が、その有する能力や適性に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ柔軟な事業形態による事業を効率的・効果的に実施し、もって障がい者等の福祉の増進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
対象者の増加による支給額の増加。			
<b>事業概要</b>			
コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援センター、日中一時支援事業、福祉ホーム運営費補助金、訪問入浴事業等の給付。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
日常生活用具給付件数(件)	2,168	2,497	2,497
移動支援件数(件)	25	23	19
訪問入浴件数(件)	269	322	367
自動車改造・運転免許取得助成件数(件)	11	14	16
<b>成果</b>			
障がいの有無に関わらず、市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現。			
<b>要求額増減理由</b>			
サービスの利用者の増加。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
②自立と社会参加への支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(4) 障がい者福祉		
ソフト		
地域活動支援センター機能強化事業、手話専任員養成研修事業、リフトバス運行事業等		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線 2955
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31289		安全、安心、快適なまちづくり事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		15,000	10,000	△ 5,000	10,000	要求どおり	10,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	15,000	10,000	△ 5,000	10,000		10,000	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
市内の既存の公共的な民間施設等のバリアフリー化等に係る改修事業に対して助成することで、事業者の経済的負担を軽減するとともにバリアフリーの意識の高揚と子育てにやさしいまちづくりを促進し、もって安全で安心できる快適なまちづくりの推進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
事業実施件数の伸び悩み。			
<b>事業概要</b>			
バリアフリー改修、子育て支援設備の設置等に要する経費の助成。 バリアフリー改修事業 子育て支援施設助成 サポートシートの設置			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
補助金交付件数(件)	3	3	6
<b>成果</b>			
誰にもやさしいまちづくりの促進。			
<b>要求額増減理由</b>			
実績による見込み件数の減。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
地域福祉		
(1) 地域における支えあいの仕組みをつくる		
③誰にもやさしいまちづくり		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(1) 地域福祉		
ハード		
安全安心快適なまちづくり事業補助		
<b>③事業評価</b>		
事業名	安全安心快適なまちづくり事業補	今後の方向性
評価区分	IV	高齢化の進展により、今後ますます施設のバリアフリー化は必要となってくる。しかしながら、補助件数はこれまでのところ低迷しており、有効に活用されているとは言い難い。積極的なPRを図るほか、利用しやすい制度に向けた見直しについて検討が必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 低
実施方針	「Ⅲ」以上の水準に向けた改善が必要	
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。 ・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31290		障がい者住宅改造助成事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		4,300	5,188	888	4,300	前年同額	4,300	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	4,300	5,188	888	4,300		4,300	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
障がい者が住み慣れた住宅で安心して健やかな生活ができるように、住宅を改造する費用又は住宅に屋根融雪装置を設置する費用を助成することにより、障がい者の生活の維持向上と自立の助長を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
県補助金の廃止による一般財源の増加。			
<b>事業概要</b>			
住宅改造:生計中心者の所得税額により、補助限度額を決定 補助率 10/10 屋根融雪装置:生計中心者の市民税額により補助限度額を決定 補助率 1/3、2/3、3/3			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
補助件数(件)			
住宅改造	4	9	10
屋根融雪	0	1	1
<b>成果</b>			
今後も継続し、住宅を改造する費用又は住宅に屋根融雪装置を設置する費用を助成することにより、障がい者の生活維持向上と自立の助長につながる。			
<b>要求額増減理由</b>			
実績による。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
障がい者福祉		
(1)障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる		
①障がい者福祉サービスの充実		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(3)高齢者福祉		
ハード		
住宅改造費補助		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31292		自立支援給付等利用者負担助成事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方	
歳出	7,980	4,480	△ 3,500	4,100	積算内訳の精査	4,100	財務部査定どおり	
財源内訳								
国庫支出金			0					
県支出金			0					
起債			0					
その他			0					
一般財源	7,980	4,480	△ 3,500	4,100		4,100		

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
障害者自立支援法の規定による障がい福祉サービス等に係る利用者負担について助成することにより、障がい者の福祉の増進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
障害者自立支援法に基づく自立支援給付と地域生活支援事業の利用者負担の助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
利用者数(人)	4,968	5,300	5,400
<b>成果</b>			
経済的な理由での障がい者福祉サービスを利用できなくなることを防ぐ。			
<b>要求額増減理由</b>			
H22年4月からの制度改正により、必要な助成額が減少したため。			

<b>①総合計画</b>	
(1) やさしさのあるまちをめざして	
障がい者福祉	
(1) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる	
②自立と社会参加への支援	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>	
(2) やさしさのあるまちをめざして	
(1) 地域福祉	
ソフト	
自立支援給付等利用者負担助成事業扶助費	
<b>③事業評価</b>	
事業名	今後の方向性
評価区分	
コスト・成果ポジション	コスト 成果
実施方針	
<b>④市長の約束</b>	
5 医療・福祉を充実させます。	
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。	

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	障がい者福祉費
事業名	31295		障がい児通園等助成事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		4,000	4,716	716	4,700	要求どおり(端数整理)	4,700	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	4,000	4,716	716	4,700		4,700	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
障がいの早期治療、機能回復等のために障がい児通園施設、病院等へ通う障がい児を持つ保護者に対して、必要な経費の一部を助成することで経済的負担を軽減し、もって障がい児福祉の増進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
対象施設数の増加等による助成対象件数の増加。			
<b>事業概要</b>			
障がい児通園施設等の通園に対する助成。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
助成件数(件)			
飛騨地域内	613	987	987
飛騨地域外	365	390	390
<b>成果</b>			
今後も継続することで経済的負担の軽減となり、障がい児福祉の増進につながる。			
<b>要求額増減理由</b>			
障がい児通園施設の利用者の増加。			

<b>①総合計画</b>		
(1) やさしさのあるまちをめざして		
児童福祉		
(1) 次代を担う子供たちが健やかに育つ環境をつくる		
①子育て不安の解消		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2) やさしさのあるまちをめざして		
(2) 児童福祉		
ソフト		
障がい児通園等助成事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		
・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2940
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	福祉センター費
事業名	31400		福祉センター管理事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		31,928	32,263	335	31,728	施設管理のための経費は前年並 改修及び備品については前倒しで実施	31,728	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0	1,827			
	一般財源	31,928	32,263	335	29,901			
						1,827	29,901	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
総合福祉センター、きりう福祉センター及び荘川福祉センターの管理、運営			
<b>事業実施の課題</b>			
駐車場の確保及び老朽化による修繕の多発。			
<b>事業概要</b>			
施設の管理運営。			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
利用者数(人)			H23計画
	総合福祉センター	83,681	83,700
	きりう福祉センター	10,721	10,800
	荘川福祉センター	5,225	5,300
<b>成果</b>			
市民等の福祉活動を助長及び市民福祉の向上			
<b>要求額増減理由</b>			
福祉センターの改修及び備品購入。			

<b>①総合計画</b>		
2「やかさしさ」のあるまちをめざして 1地域福祉 1地域における支えあいの仕組みをつくる		
1	地域福祉	
1	地域における支えあいに仕組みをつくる	
2	拠点となる施設の整備	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
2「やかさしさ」のあるまちをめざして 1地域福祉 1地域における支えあいの仕組みをつくる		
1	地域福祉	
1	地域における支えあいに仕組みをつくる	
2	拠点となる施設の整備	
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポ ジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
4 個人・家庭・地域を大切に社会を築きます。 市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備の予算枠を確保します。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2940
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	福祉医療費
事業名	31500		子ども医療費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	344,000	349,387	5,387	348,000	実績により査定	348,000	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	67,200	67,980	780	76,050		76,050	
起債			0				
その他			0				
一般財源	276,800	281,407	4,607	271,950		271,950	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
出生から義務教育修了までの間の医療費の自己負担分を助成することにより、保健福祉の向上及び子どもを育てる親の負担の軽減を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
適正受診の啓発、普及			
<b>事業概要</b>			
医療費の自己負担分を助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
受給者数(人)	13,243	13,030	13,030
受診件数(件)	162,391	167,471	167,471
<b>成果</b>			
子どもを生み育てやすい環境整備。			
<b>要求額増減理由</b>			
入院の増加により医療費が増加する見込み			

<b>①総合計画</b>		
2 「やさしさ」のあるまちをめざして		
1	地域福祉	
2	誰もが安心して暮らせる環境をつくる	
2	暮らしへの支援	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
2 「やさしさ」のあるまちをめざして		
1	地域福祉	
2	誰もが安心して暮らせる環境をつくる	
2	暮らしへの支援	
<b>③事業評価</b>		
事業名	子ども医療費助成事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	本事業は、市の子育て支援策の中でも保護者の満足度が高い事業であり、今後も継続して実施していくことが必要である。
コスト・成果ポジション	コスト 高	成果 高
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要 なお、実施にあたっては、引き続き県に対し補助対象の拡大について要望するとともに、医療課と連携しコンビニ受診防止に向け、24時間電話医療相談の周知を行うなど、適正な受診に対する啓発が必要である。	
<b>④市長の約束</b>		
7 将来を担う子どもを守り育てます。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2940
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	福祉医療費
事業名	31505		母子家庭等医療費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		53,000	61,306	8,306	60,000	実績により査定	60,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	21,200	24,522	3,322	27,000			
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	31,800	36,784	4,984	33,000			
							33,000	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>				
母子・父子家庭の児童及び父母の医療費の自己負担分を助成することにより、保健福祉の向上及び子どもを育てる父母の負担を軽減し子育て環境の整備促進を図る。				
<b>事業実施の課題</b>				
適正受診の啓発、普及				
<b>事業概要</b>				
医療費の自己負担分を助成				
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
受給者数(人)		1,975	1,975	1,975
受診件数(件)		20,724	20,699	20,699
<b>成果</b>				
子どもを生み育てやすい環境整備。				
<b>要求額増減理由</b>				
1件当たり医療費の増加による				

<b>①総合計画</b>		
2 「やさしさ」のあるまちをめざして		
1	地域福祉	
2	誰もが安心して暮らせる環境をつくる	
2	暮らしへの支援	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
2 「やさしさ」のあるまちをめざして		
1	地域福祉	
2	誰もが安心して暮らせる環境をつくる	
2	暮らしへの支援	
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2940
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	福祉医療費
事業名	31510		重度等障がい者医療費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	481,000	473,484	△ 7,516	472,000	実績により査定	472,000	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	177,200	173,106	△ 4,094	194,400			
起債			0				
その他			0				
一般財源	303,800	300,378	△ 3,422	277,600		277,600	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
身体、知的、精神の障がい者に対し医療費の自己負担分を助成することにより、保健福祉の向上及び障がい者生活環境の向上を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
適正受診の啓発、普及			
<b>事業概要</b>			
医療費の自己負担分を助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
受給者数(人)	3,739	3,793	3,793
受診件数(件)	96,962	95,060	95,060
<b>成果</b>			
障がい者生活環境の向上			
<b>要求額増減理由</b>			
受診件数の減少による医療費の減少を見込んだ			

<b>①総合計画</b>		
2 「やさしさ」のあるまちをめざして		
1	地域福祉	
2	誰もが安心して暮らせる環境をつくる	
2	暮らしへの支援	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
2 「やさしさ」のあるまちをめざして		
1	地域福祉	
2	誰もが安心して暮らせる環境をつくる	
2	暮らしへの支援	
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。 障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を創ります。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2940
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	福祉医療費
事業名	31525		福祉医療審査事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		32,290	31,721	△ 569	31,570	積算内訳の精査	31,570	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	9,072	9,003	△ 69	10,072		10,072	
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	23,218	22,718	△ 500	21,498		21,498	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
対象者の助成金請求事務手続きの軽減と医療機関からの助成金請求の適正化及び請求事務に係る医師会等への事務費負担。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
医療機関からの福祉医療費助成金請求書の審査及び請求事務に係る医師会等への事務費負担			
計画・実績・見込	H22実績	H22見込	H23計画
審査件数(件)	275,760	285,362	279,044
<b>成果</b>			
医療費の審査、支払いの適正化及び手続きの簡素化			
<b>要求額増減理由</b>			
受診件数が減少する見込み			

<b>①総合計画</b>		
2 「やさしさ」のあるまちをめざして		
1	地域福祉	
2	誰もが安心して暮らせる環境をつくる	
2	暮らしへの支援	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2940
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	福祉医療費
事業名	31530		福祉医療給付事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		381	399	18	331	積算内訳の精査	331	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	381	399	18	331			
							331	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
福祉医療費の助成に係る適正化を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
・福祉医療対象者の認定事務 ・助成金支払い事務 ・高額療養費請求事務 ・過誤調整 ・受給者証の新規交付及び重度障がい者医療・簿母子家庭等医療受給者の受給者証更新事務			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
子ども医療受給者(人)	13,243	13,030	13,030
母子家庭等医療受給者(人)	1,975	1,975	1,975
重度等障がい者医療受給者(人)	3,739	3,793	3,793
<b>成果</b>			
福祉医療費及び受給者の適正化。			
<b>要求額増減理由</b>			
福祉医療受給者証及び助成金請求書印刷費の増加。			

<b>①総合計画</b>		
2 「やさしさ」のあるまちをめざして		
1 地域福祉		
2 誰もが安心して暮らせる環境をつくる		
2 暮らしへの支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます。		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線2942
-------	---------	--------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	3	生活保護費	目	1	生活保護総務費
事業名	33105		生活保護事務費					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	2,376	4,485	2,109	2,446	前年並の事業費とする 就労支援員設置についてはケースワーカーの増 にて対応	2,446	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金	1,320	1,481	161	1,320		1,320	
県支出金		1,440	1,440	0		0	
起債			0				
その他			0				
一般財源	1,056	1,564	508	1,126		1,126	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
生活保護の事務遂行。			
<b>事業実施の課題</b>			
その他世帯(就労が可能と見込まれる世帯)増加に伴い、就労支援員の設置が必要である。 生活保護世帯の急増によりレセプト処理の手数料が増加することが考えられる。			
<b>事業概要</b>			
生活保護事務に係る経費。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
生活保護受給世帯数(年度末)(世帯)	214	260	300
生活保護受給人数(年度末)(人)	294	362	415
<b>成果</b>			
生活保護事務の適正な執行。			
<b>要求額増減理由</b>			
生活保護世帯の急増によるレセプト処理手数料の増加。 就労支援員を設置。			

<b>①総合計画</b>		
「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
(2)誰もが安心して暮らせる環境を作る。		
②暮らしの支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポ ジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2942
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	3	生活保護費	目	2	扶助費
事業名	33200		生活保護扶助費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	448,001	606,152	158,151	540,001	実績により査定	540,001	財務部査定どおり
財源内訳						405,000	
国庫支出金	336,000	454,613	118,613	405,000			
県支出金	18,760	20,042	1,282	22,612			
起債	0	0	0				
その他	0	0	0				
一般財源	93,241	131,497	38,256	112,389		112,389	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
生活保護法に基づき、生活に困窮する市民に対しその困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長する。			
<b>事業実施の課題</b>			
被保護世帯の増加。			
<b>事業概要</b>			
生活費、家賃、医療費等の給付。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
生活保護受給世帯数(年度末)(世帯)	214	260	300
生活保護受給人数(年度末)(人)	294	362	415
<b>成果</b>			
最低生活の保障及びその自立の助長。			
<b>要求額増減理由</b>			
近年の扶助費の伸び率及び、受給者の増加に伴う扶助費の増加。			

<b>①総合計画</b>		
「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
(2)誰もが安心して暮らせる環境を作る。		
②暮らしの支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2)やさしさのあるまちをめざして		
(1)地域福祉		
ソフト		
生活保護扶助事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線	2955
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	3	生活保護費	目	2	扶助費
事業名	33210		住宅手当緊急特別措置事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	4,000	1,595	△ 2,405	1,500	実績による	1,500	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	4,000	1,595	△ 2,405	1,500			
起債			0				
その他			0				
一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
離職者で就労能力及び就労意欲のある者で、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、手当を支給することにより住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行う。			
<b>事業実施の課題</b>			
関係機関(ハローワーク、社会福祉協議会)との連携。			
<b>事業概要</b>			
離職により住宅を失うまたはその恐れのある対象者に最長9ヶ月を限度として住宅手当の支給。			
計画・実績・見込	H22実績	H22見込	H23計画
受給者数(人)	5	6	7
<b>成果</b>			
住宅及び就労機会の確保。			
<b>要求額増減理由</b>			
実績による見込み件数の減。			

<b>①総合計画</b>		
「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
(2)誰もが安心して暮らせる環境を作る。		
②暮らしの支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	福祉部 福祉課	内線2942
-------	---------	--------

金額の単位は、千円

款	3	民生費	項	5	災害救助費	目	1	災害救助費
事業名	35100		災害救助費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方	
歳出	2,380	2,345	△ 35	2,345	災害援護資金貸付金残高の減少による利子補給の減見舞金については前年同額	2,345	財務部査定どおり	
財源内訳								
国庫支出金			0					
県支出金			0					
起債			0					
その他	1,680	1,644	△ 36	1,645		1,645		
一般財源	700	701	1	700		700		

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
平成16年台風23号に伴う災害援護資金を借り入れている方や、火災、交通災害にあわれた方に補助金等により、その生活の再建に資する。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
災害援護資金貸付金の利子補給及び火災・交通災害見舞金の支給			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
利子補給件数(件)	6	6	6
火災等被害者見舞金件数(件)	7	12	15
<b>成果</b>			
被災者の生活再建。			
<b>要求額増減理由</b>			
平成16年台風23号に伴う災害援護資金貸付金残高の減少。			

<b>①総合計画</b>		
「やさしさ」のあるまちをめざして		
地域福祉		
(2)誰もが安心して暮らせる環境を作る。		
②暮らしの支援		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(2)やさしさのあるまちをめざして		
(1)地域福祉		
ソフト		
被災者支援事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		